

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club
2013-2014

会長 田中 雅承 副会長 原田 哲
幹事 樋貝 浩久 副幹事 田中 雅貴
会計 田中 直行 会報 原田 哲

事務所
〒409-3812 山梨県中央市乙黒 158-2
(山梨ビジネスパーク (株)カルク内)
TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>
FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net

ロータリーを實踐し



みんなに豊かな人生を

2013～2014 RI会長 ロンD.バートン
第2620地区ガバナー 志田 洪顯
例会日・毎週金曜日 12:30～13:30
例会場・(株)カルク (055-273-5344)

Weekly Report

2014年 1月 17日 第1614回例会

本日のプログラム

会員卓話

原田 哲会員

会長挨拶

「午年にあたって」

会長 田中 雅承

皆さん、改めまして「新年 明けまして おめでとうございます」1月3日はお寒い所「第25回ふるさとを描く子ども絵画展」撤去作業のご協力を有難うございました。

おかげさまで、石原青少年奉仕委員長始め会員の皆様のご協力により無事終了する事が出来ました。

今年は午年で勢いと速さで当クラブへ幸運を運んで来てくれる様、また会員の皆様が幸せであります様、近くに有ります諏訪神社へ初詣に行き、お願いをして参りました。

今年も初詣、出初め式、仕事始め、七草、本日の新年例会と早いもので10日が過ぎ、「今年は」と張りきっておいでの方ばかりと拝察しております。

昔から1月7日は「春の七草」と申し神事的な所もあり、文学的な所もあり、春を待つ願いもある様ですが7日の朝に七草の野菜の入ったお粥を食べる習らわして、「七種の節句」の略とも言われ、これを食すると「邪気」を払い「万病」を除くと言われ、日本全国で今でも行われています。

七草粥の行事は古くから日本にあった様で「延喜式」にも記載されている。

春の七草は「芹、なずな、ごぎょう、はこべら、仏の座、すずな、すずしろ」の事を言い、「なずな」はペンペン草、「ごぎょう」は母子草、「はこべら」ははこべ、「仏の座」は田平子、「すずな」はかぶ、「すずしろ」は大根を指しています。

先程、文学的な所ありと申しましたが、これらの七草を6日の夜から7日の朝にかけて、まな板の上へのせ包丁でたたき刻むのです。その時、子ども達が「七草の囃子唄」を楽しく歌いはやす風習が、農作物の敵である害鳥を追い払う意味も込められて行われていました。

これは「七草粥」の行事と作物を荒らす鳥を追い払い、豊作を願う行事とが結びついたものと考えられています。

平安時代には大変人気のあった行事で、「枕草子」にも、「七日の若菜を人の六日にもて騒ぎ・・・」と有るそうです、又この日は正月の門松やしめ飾りを下げ、元日からこの日までを「松の内」と称しひと区切りの意味を示す様です。

幹事報告

幹事 樋貝 浩久

1. 新春を迎え おめでとうございます。

「第25回ふるさとを描く子ども絵画展」の撤去作業を県立美術館に於いて1月3日行いお休みの所ご苦勞様でした。有難うございます。

2. 本日の例会は「新春例会」です。卓話の時間は「フリートーク」に致しましたので面白いお話が楽しみです。宜しくお願い致します。

3. 第2620地区志田ガバナー事務所より1月のロータリーレートとの連絡がありましたので、お知らせ致します。
1ドル=102円との連絡です。

4. ロータリーの友事務所より「ロータリーの友1月号」が届いておりますので配布致します。

5. 第2620地区直前ガバナー事務所より2月7日(金)の当クラブへの表彰訪問に高野直前ガバナーが見えますのでお知らせ致します。

6. 2月12日(水)は甲斐シティーロータリークラブとの合同例会です。点鐘は午後12時30分、会場は「ティンカーベル」にて行われます。したがって2月14日(金)の例会は振替の為「休会」と成りますのでお間違えの無い様、宜しくお願い致します。

7. 例会変更のお知らせ

☆甲斐シティーロータリークラブ☆

1月29日(火)の例会は「会場の都合で通常例会」に変更の為 時間の変更

点 鐘：午後12時30分

会 場：「ティンカーベル」

前回の例会記録

第1614回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	10名	1名	92%	3名	100%

届出欠席者 石原 満彦君

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 田中 雅貴君 石原 満彦君
樋貝 浩久君

ビジター なし

備考 なし

ニコニコ BOX

・あけましておめでとうございます。

田中 雅承 小池 章治

鮎川 一明 遠藤 一郎

原田 哲 田中 直行

竹野 満

・おめでとうございます。

早退しますので宜しくお願いします。

田中 雅貴

・今年もお願い致します。

樋貝 浩久

「随想」 妻のために生きる(4)

塩崎 岡司先生

我が家で妻を介護するようになった時、お風呂、トイレの介助や掃除、洗濯はなんとかこなすとしても、困ったのは食事でした。ほとんど台所に立ったことのない私は、何をどうつくったらいいのかさっぱりわかりません。朝はトーストとコーヒーで済ませても、昼、夜の献立を何にするかは重要な問題でした。

スーパーで買った惣菜をパックのままボーンとテーブルに並べる、といったところから始まって本やレシピを頼りに試行錯誤を重ねていったのです。不慣れた家事を妻はよく我慢してくれたものだと思います。もちろんこれもヘルパーさんの協力なしにはなせないことでした。

幸いリハビリの甲斐あって麻痺していた妻の右半身は少しずつ動くようになり、依然たどたどしいものの言語機能も回復の兆しを見せていきました。

(次回へつづく)

次回のプログラム 1月31日(金)

会員卓話

鮎川 一明会員